

## 薬物乱用防止へ 豊田中生に講座

磐田市立病院

磐田市立総合病院(同市大久保)は24日、同市加茂の市立豊田中

学や高校に薬物乱用防止の要請文を送付。これを受け、同校での啓発をはかろうと講座開催が決まった。

同病院薬剤部の正木銀三部長が講師を務めた。「大麻・覚醒剤から自分を守る」をテーマに、3年生約130人に薬物依存の仕組みなどを説明した。

正木部長は、人が薬物を摂取すると、快感をおぼえる脳内物質「ドーパミン」が過剰放出され、異常な興奮を引き起こすことを紹介。「人は一度味わった感覚を忘れられず、再び快感を得ようとして依存症に陥る」と解説した。



薬物依存の仕組みなどについて解説した薬学講座  
＝磐田市加茂の市立豊田中

「薬物の有害性や依存症に関する正しい知識を持ち、自分の身を守って」と訴えた。